

おもちゃ「母と子」のレプリカ



The message from

Y. Kazuko

Museum of Misumi

～美術館からのメッセージ～

おもちゃの
レプリカを設置

美術館の中庭に、画伯の代表作である「母子像シリーズ」の中の「母と子」のおもちゃの複製品が設置されました。

画伯は何時も家族を暖かく見守り、特に親子の絆を大切に、家庭をモチーフにした作品を多く描いています。中でも「母子像シリーズ」は、ほのほのとした暖かい作品でファンも多く、来館者にも大変な人気がありました。

設置された1月9日以降はレプリカといっしょに写真を撮って帰られる入館者が多くあります。

評論家 立花 隆氏が語る

「香月泰男のシベリヤ」
がNHKで全国放送



(写真提供：NHK山口放送)

1月4日、下関市民館で開催された新春特別講演「香月泰男のシベリヤ」が、NHK山口放送局の配慮により、全国放送されることになりました。

【放送日時】

・平成8年2月21日(水)

午後8時から

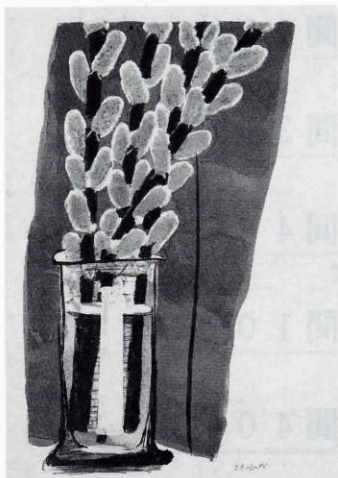
・NHK教育テレビ

「ETV」番組で放送

講師の立花氏は、昨年、番組づくりのため当館を訪れ取材しています。又、彼が30数年前の学生のころ画伯と出会い、その後も交流があり、講演の内容も充実して、市民館は満員で立っての聴講者もありました。

<私の>春展

— 3月2日(土)から —



シベリヤ抑留で二冬を体験した香月画伯は、「春は、寒く厳しい冬の後ほどよい。」と云い、春の訪れを誰よりも待ち焦がれその季をのがさず追及し、△私の▽地球の春を描き謳歌した。今回はこれらの作品群を中心に展示した△私の▽春展を開催しますのでご期待下さい。

<私の>台所展

— 2月25日(日)まで —

シベリヤ抑留から復員後、食べ物有難さを痛切に思った画伯は、食卓にあがる前の食材をかたっぱしから描いた。そのためか、「台所作家」と呼ばれるやされた時期がありました。この頃の作品を中心に展示した <私の> 台所展がまもなく終わります。

是非この機会に身近に感じられる暖かい作品をご家族で鑑賞してはいかがですか。